

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.161

2011(平成23)年 2月16日(水)発行



<66年前の昭和20年2月16日、原町飛行場、原町紡織工場が空襲され、4名が犠牲となる>

太平洋戦争
中の昭和二十
(一九四五)
年二月十六日
の朝、米軍機
動部隊の艦載機グラマ
ンなど十六機が原町陸
軍飛行場(現在の南相
馬市原町区)を急襲す
る。この日始まった硫
黄島攻略に伴う先制攻
撃だった▼隣接する民
間の施設・原町紡織工
場も空からの銃撃に遭
う。警報は鳴らなかつ
た。勤労奉仕中の相馬
商業学校生や若い女子
挺身隊員ら合わせて四
人が犠牲となる。飛行
場には新鋭戦闘機「隼」
が配備されていたが、
戦力温存を理由に飛び
立つことはなかった。
原町は終戦の直前にも
繰り返し空襲を受けた
(「原町市史」)な
ど▼空からの攻撃は
〈略〉

○本会報No.128でも掲載しましたが、▲2月16日付『福島民報』のコラムでも述べられています。

引き揚げ体験者が身近に多いことがわかりました!

1月28(金)・29(土)・30日(日)「漫画展」に450名が入場『漫画展』報告①



本会主催の「漫画展」も無事終了。会員の皆様はじめ、一般市民の方々もたくさんご入場されました。開催の一部始終をそのまま報告いたします。



○『漫画展』開催は、昨年8月福島市で見学してきた事務局の井上さんからの提案でした。9月の事務局会で開催を決定。準備を開始。

○『漫画展』を企画している東京の日本中国友好協会に問い合わせると、パネルを借用できるのは、半年先の今年1月28・29・30日の日程しかないということで、その日程で開催することにしました。

○開催を5カ月前の「九条はらまち」9月2日号No.145で初めて広報。会場は原町区の南相馬市中央図書館大会議室を借用することに決定。

○主催は「はらまち九条の会」ですが、共催として「小高・鹿島・相双教職員九条の会」にもお願いします。南相馬市教育委員会・福島民報社・福島民友新聞社に後援依頼の申請手続きを行い、承認される。

○ポスター・チラシのデザインは、会員の原町区桜井町のケーキ店「tonbo」の岡宏行さんに依頼。▲よく目立ち、分かりやすく、大変好評のポスターを160枚、またチラシ3,000枚を印刷し配布しました。

○各新聞社と県内全部のテレビ局に『漫画展』開催の報道を依頼し、次のように掲載報道されました。

<「漫画展」報道と入場者数> 「図書館での開催イベントでは最大級の入場」と驚かれました。

12月27日(月)	『朝日新聞』福島版で紹介	<入場者数>
1月28日(金)	『福島民友』で紹介。(NHK-TV取材)	90名
29日(土)	『福島民友』で紹介。NHK-TV福島放送局の朝のニュースで約3分間2回紹介。	210名
30日(日)	『福島民報』・『毎日新聞』福島版で紹介。	150名
2月3日(木)	『福島民報』浜街道で紹介。	合計 450名



漫画展への来場を呼び掛けるポスター



○29日朝のNHKテレビ報道が大きな威力を見せつけ、「テレビを見て来た」という方が大変多かった。遠くは雪の峠を越えて白河市や福島市からもわざわざ入場されています。

○南相馬市議会議員さん24名には毎月会報を郵送させていただいていますが、お忙しい中3名の議員さんが入場され、長時間熱心にご覧になっていました。

○『漫画展』開催は、会報、会のホームページ、ポスター、チラシなどで広報。また銘醸館の観光協会のインターネットで紹介いただき感謝しています。まだまだ工夫や力不足で不徹底、不十分で、今回も大きな反省点です。

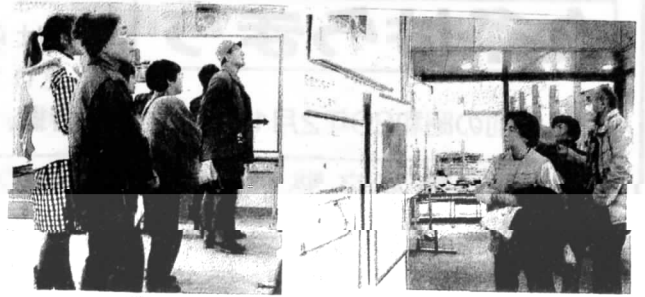
旧満州国での体験がたくさん寄せられています！

『漫画展』報告②

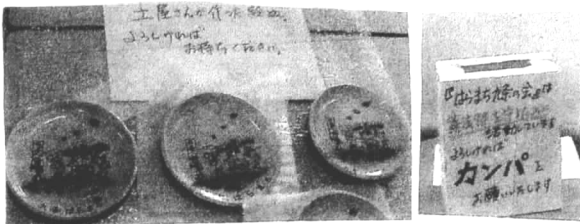
○漫画パネルは広島市の開催会場から原町に開催前日の昼に到着。原町で開催後最終日の夕方、大箱6個に再梱包して次の会場の鹿児島市に慌ただしく転送しました。

○パネル60枚の展示作業は27日午後、事務局員で行い、3日間の会場係は会員有志や小高・鹿島九条の会のお手伝いで行い、特に妨害や混乱や問題はありませんでした。

○引き揚げを体験された高齢の方がたくさん入場し、あちこちでパネルの絵を指さし、当時の体験を話される輪ができました。会報の「私の戦争体験」としてこれから掲載する予定です。若い方の入場も多く、希望を感じました。



- 十数種の書籍もほぼ売れました。
- 本会会報「九条はらまち」のバックナンバーを陳列しておきましたが、戦争体験号などをお持ちいただいた方もけっこう多かった。
- 群馬県前橋市の会員土屋千恵子さんは、手書きで焼かれた絵皿30枚を「皆さんでお分けください」と送って来られました。そこで会場に陳列しておいたところ、大変好評で1日半ですべてなくなりました。(土屋さんは様々な「九条の会」の焼き物を作られ、何度も本会に送ってくださっています。)



- パネル出品の漫画家は12名。その一人の横山孝雄氏の両親が新地出身で、引き揚げた戦後、横山氏は相馬高校を卒業。従兄弟さんや友人が入場し見学されていました。
- 入場は無料でしたが、カンパの箱を置いたところ、たくさんのご芳志が寄せられました。ありがとうございます。
- 入口で本会会報No.160を手渡すことで、入場者数を確認記録し、氏名の記入やアンケート記入などは行いませんでした。
- 会場で「はらまち九条の会」への新規入会会員は2名で、会員は418名に。嬉しく思います。お互いに元気で頑張りましょう！



独自のタッチで戦争を表現した漫画展
南相馬市原町区の市立中央図書館で

戦争体験の漫画展

赤塚不二夫さんら12人

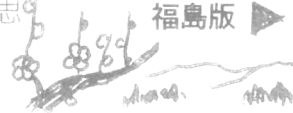
馬場 南

赤塚不二夫さんやちばてつやさんら漫画家12人が中国や満州の生活体験を描いた「漫画展 中国からの引き揚げ 少年達の記憶」が30日まで、南相馬市原町区の市立中央図書館で開かれている。「中国からの引き揚げ」「敗戦後の日本での生活」など5テーマでパネル約60枚が展示されている。

主催の「はらまち九条の会」の山崎健一事務局長(65)は「中国や

親から手りゅう弾の安全ヒンの抜き方を教わった体験を描き、赤塚さんは母親のリュックにつかまり、家族5人で満州から引き揚げる様子を描いた。子供のころに体験した戦争を独自の作風で表現している。

1月30日付
『毎日新聞』
福島版



米国と戦争したことでえ知らない若い人もいて、日中間でうまくやっていくには、まず過去を知ることが第一歩」と話した。
入場無料。30日午後3時まで。問い合わせは同図書館(0244・23・7789)。
【神保圭作】